

畜産ネットワーク ちば

2015年1月20日
第32号

発行所 公益社団法人千葉県畜産協会
〒260-0021
千葉市中央区新宿1-2-3
K&T千葉ビル3階
発行人 森 英介

年頭のご挨拶



公益社団法人
千葉県畜産協会

会長 森 英介

明けましておめでとうございます。謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

皆様方には、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より、当畜産協会の各種事業の推進につきまして、深いご理解と多大なるご支援、ご協力を賜っておりますこと、心より厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を顧みますと、消費税率のアップ、急激な円安等も加わり、飼料価格や生産資材の高騰・高止まり状態となり、畜産経営を取り巻く環境は大変厳しい状況にありました。

しかしながら、「養豚農業振興法の制定」「飼料用米や各種振興施策の推進」など明るい兆しも垣間見られました。

今後は師走選挙を経て成立した新政権が、畜産経営者が夢と希望をもって前向きに進めるよ

う、TPP交渉や新たな畜産振興施策に取り組んでゆくことを期待するものです。

このような状況にあって当畜産協会は、畜産経営安定対策、県産畜産物の消費拡大の推進、飼養衛生管理・生産性の向上等に努めてまいりました。

本年も、いよいよ緊迫してきたTPP交渉等や口蹄疫等の海外悪性伝染病・オーエスキー病等の家畜防疫の諸問題、円レートや生産資材価格の動向等予断を許さない状況が続き、畜産業界にとって誠に厳しい環境となるものと考えられます。

当畜産協会といたしましては、県民・消費者と生産者、関係団体・行政機関等との密接な連携に努め、安全で信頼される県産畜産物が安定的に供給されますよう、これまで以上に取り組んでまいり所存でございます。

今後とも、様々な場面で皆様方のお役に立てますよう、役職員一同より一層心掛けてまいり所存でございますので、ご理解・ご支援・ご協力賜りますよう、よろしくお願いたします。

平成27年が皆様方にとりまして、輝かしく夢と希望を抱かせる飛躍の年となりますよう、心よりご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

目次	
・年頭のご挨拶	(1)
・千葉県乳牛育成牧場の入牧回数を年3回に変更	(2)
・千葉県高病原性鳥インフルエンザ防疫演習に生産者参加	(2)
・ちば畜産レディースネットワーク会報	(3)
・養鶏研修会の開催	(3)
・第52回畜産関係試験研究成果発表会のお知らせ	(4)
・NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信	(6)
・平成26年度「農林水産就業相談会」開かれる	(6)
・チバザビーフ協議会報	(7)
・肉用牛損害賠償請求	(7)
・畜産機械施設リースのご案内	(8)
・NPC通信(ナイスポークチバ推進協議会)	(10)
・2014年(第8回)千葉県畜産フェア開催	(11)
・ふれあい体験教室開催	(12)
・肉用子牛生産者補給金制度・肉用牛繁殖経営支援事業	(12)
・肉用牛肥育経営安定特別対策(新マルキン)事業	(12)

千葉県乳牛育成牧場の入牧回数を年3回に変更

千葉県では、平成25年12月に策定した千葉県農林水産業振興計画において、「酪農経営の強化と畜産物のブランド力向上」を目標として掲げ、家畜の生産性向上と生産基盤の強化に取り組むこととし、具体的には、生乳生産性の向上と経営安定を図ることとしております。

その一つとして、県内の後継牛の確保と労働負担の軽減等を目的として運営してまいりました千葉県乳牛育成牧場（以下、育成牧場）は、酪農家の多様化するニーズに対応するため一部受託方法を変更することとしました。

平成27年3月から、育成牧場では、受託業務において入牧回数を年3回とし、繁殖メニューについてもホルスタイン種受精卵を追加し、これまで以上に酪農家が利用しやすい運営を行ってまいります。

育成牧場における受託時期、繁殖メニューは右記のとおりです。

【新規入牧内容】	
対象	第85期入牧牛（平成27年3月）から
入牧時期	3月、7月、11月の年3回（変更前は、3月、9月の年2回）
受託頭数	各期 おおむね82頭（変更前は、各期110頭）

【年3回入牧での入牧月・対象生年月日・募集期間】			
入牧月	下牧月	対象生年月日	募集期間
3月	翌年6月	前年7月1日～ 9月30日	前年11月20日～ 12月28日
7月	翌年10月	前年11月1日～ 1月31日	3月20日～ 4月30日
11月	翌々年2月	3月1日～ 5月31日	7月20日～ 8月31日

【育成牛に対する繁殖メニュー】	
①人工授精	ホルスタイン種、黒毛和種の精液
②受精卵移植	ホルスタイン種*、黒毛和種の受精卵

※今回から追加、額岡乳牛研究所の具有ドナー牛の受精卵が対象となり、乳用牛受精卵供給事業に基づき実施。

お問い合わせ先

千葉県畜産総合研究センター市原乳牛研究所
TEL:0436-96-1231

千葉県農林水産部畜産課生産振興班
TEL:043-223-2939

千葉県高病原性鳥インフルエンザ防疫演習に生産者初参加

自衛防疫活動の一環として、千葉県農林水産部畜産課が主催する「千葉県高病原性鳥インフルエンザ防疫演習」に共催し、初動防疫活動に携わる県職員等の防疫訓練に加えて、生産者自らが発生時の防疫措置を学び、理解を深めるとともに、万一の発生に際して機敏に対応できる態勢を構築し、急性・悪性伝染病の発生に備えることを目的に、今回初めて生産者が防疫演習に参加した。（総務・企画部 奥住）

<防疫演習概要>

(1) 演習日時及び場所 10月29日（水）午前8時30分～ 長柄町市民体育館（長柄町） 房総ファーム鳥越農場（市原市）	(3) 演習内容 ①防護具等着脱デモンストレーション 防護服等の着衣、脱衣手順について学習する。 ②農場内実地演習（高病原性鳥インフルエンザの発生を想定した農場における防疫作業） 防疫作業従事者の健康チェック、患畜殺処分、終了後に行う清掃・消毒作業を実習、加えて防疫作業中の傷病者救護を学習する。
(2) 参加者 県関係機関、市町村、関係団体等総勢222名 うち生産者等参加者17名	

<演習評価>

演習終了後に行った生産者アンケート調査結果から（14名）、発生時の初動防疫活動に対する生産者の関心は高く、防疫演習に参加することにより防疫作業従事者への理解も深まり、従前にも増して防疫意識が高まることが推察された。



（防護具等の着衣）



（鶏の殺処分方法の説明）



（鶏舎の消毒方法の説明）

アンケート項目	よく理解できた	概ね理解できた	難しかった
①鳥インフルエンザの特定症状は	9 (64%)	4 (29%)	1 (7%)
②発生時の農家対応は	6 (43%)	7 (50%)	1 (7%)
③畜舎消毒の実施は	5 (36%)	9 (64%)	0 (0%)
④演習全体の評価は	大変良かった 10 (71%)	適当 4 (29%)	物足りなかった 0 (0%)



活動記録

1 第8回千葉県畜産フェアで「ミルクくずもち」を手作り・無償配布、畜産の魅力をアピール！！

平成26年10月4日（土）、千葉県畜産のPR、県産畜産物や県産食品の消費拡大及び消費者との交流を目的として、第8回畜産フェアが開催され協賛37団体の1つとして、畜産レディースは11名の会員の参加があり「ミルクくずもち」を会場内で手作り・無償配布した。今回は天候にも恵まれ、ふれあい広場、ダートフェスタ、フリーマーケットも予定通り開催されたことから、昨年の約2倍5,500名の来場者があった。畜産レディースのブースにも800名以上の消費者が訪れ、会員が心を込めて手作りした「ミルクくずもち」を賞味し「おいしい・うまい」と大好評、消費者と会員の交流も盛り上がり、レディースネットワークの紹介と「ミルクくずもち」のレシピのチラシを多くの方が持ち帰った。



(千客万来のレディースブース)



(レディーススタッフ・ハイビス)

2 「視察研修会&情報交換会in埼玉」開催される。

平成26年11月11日（火）、(株)埼玉種畜牧場・サイボクハム（埼玉県日高市）の視察及びレストランを会場として、埼玉県の「畜産女性いきいきネットワーク埼玉」（会員数28名）と情報交換会を持った。埼玉は13名、ちばレディースからは会員等15名が参加、サイボクハムの笹崎社長はじめ、中央畜産会、業界紙記者等来賓を含め30名余のにぎやかな交換会となった。



(サイボクハム・親子豚像前にて)



(情報交換会風景)

笹崎静雄社長から「サイボクハムの歴史や養豚についての思い」をスピーチいただくとともに、養豚業界のカリスマ的存在であった父親の笹崎龍雄前社長の著書並びに料金以上のおいしい昼食を頂戴した。

サイボクハム自慢のハム・ソーセージ、とんかつ等満載の食事を賞味したのち、それぞれのネットワークの紹介、参加者全員の自己紹介と抱負・思い等を含めたショートスピーチ等で盛り上がった。

その後、参加者と一緒にサイボクハム社員の案内で場内を見学、土産の購入、会員同士の交流で時間がまたたく間に過ぎ、再会をお互い願いつつ、埼玉レディースの皆様に見送られ帰途についた。（事務局 新城）

養鶏研修会の開催

毎年恒例の養鶏研修会が11月13日（木）、ホテルプラザ菜の花で養鶏生産者等82名が出席し開催された。研修講演は2題で最近の高病原性鳥インフルエンザの発生状況について、独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究所インフルエンザ・プリオン病研究センター、西藤岳彦センター長から講演を頂くとともに、世界のアニマルウェルフェア卵の情勢と題して麻布大学 獣医学部 動物応用科学科 動物資源経済学研究室・大木茂教授から講演を頂いた。

(総務・企画部 奥住)



(西藤先生の講演)



(大木先生の講演)



(養鶏生産者等出席者)

わたしたち森久保薬品は
人と動物の「これから」を真剣に考えています。

 **森久保薬品株式会社**
<http://www.morikubo.co.jp>



第52回畜産関係試験研究成果発表会のお知らせ

千葉県農林水産技術推進会議畜産部会主催の、試験研究成果発表会が開催されます。
参加は無料で、事前の申し込みも必要ありません。開催日時、場所、課題名等は下記の通りです。
お誘い合わせの上、多数のご来場をお待ち申し上げます。(畜産総合研究センター)

< 酪農・肉牛部門 >

日時：平成27年2月19日(木) 10時～14時05分

場所：さんぶの森文化ホール(さんぶの森公園内)

山武市埴谷1904-5 (TEL: 0475-80-9700)



□千葉県における飼料用トウモロコシの二期作栽培の可能性

(畜産総合研究センター 企画環境研究室 青木大輔)

新たな長大作物の栽培体系としてトウモロコシの二期作栽培を検討したところ、播種時期、収穫時期、使用品種の組み合わせ等の技術により本県での実用化が可能である。

□千葉県における飼料作物品種選定試験と奨励品種の紹介(トウモロコシ)

(畜産総合研究センター 嶺岡乳牛研究所 行川貴浩)

千葉県飼料作物奨励品種(トウモロコシ)を選定するために品種選定試験を実施している。今回は近年のデータと今年度奨励品種に指定する予定の品種の特性について紹介する。

□肥育牛への規格外落花生の給与効果

(畜産総合研究センター 乳牛肉牛研究室 小林正和)

他県産牛肉との差別化を図ることを目的に、規格外落花生に着目し、その給与による産肉性に及ぼす影響を検討した結果、差別化に利用できる可能性が示された。

□乾乳前期におけるエネルギー給与水準の違いが分娩後の乳牛に及ぼす影響

(畜産総合研究センター 乳牛肉牛研究室 川嶋賢二)

乾乳前期のエネルギー給与水準を日本飼養標準(乳牛)の80%程度に制限すると、乳牛個体の健全性が向上し、分娩後の繁殖機能や泌乳持続性が向上する可能性がある。

□イネWCSの給与が乳用育成前期牛の発育に及ぼす影響

(畜産総合研究センター 乳牛肉牛研究室 佐野実乃里)

乳用育成牛(7ヶ月齢、体重200kg程度)に給与する粗飼料を全量イネWCSに置き換え、発育や生理状態・消化性に及ぼす影響を検証した結果、良好な発育が見られたので紹介する。

□近年県内で導入されたWCS用飼料イネ専用品種の飼料成分

(畜産総合研究センター 企画環境研究室 名取美貴)

新たに現地栽培されたWCS用イネ専用品種を中心に、出穂以降の飼料成分の経時的変化を解析したところ、推移のパターンは穂重型、茎葉型、極茎葉型の3つに分類された。

□イネWCSの収穫熟期の違いが乳生産に与える影響

(畜産総合研究センター 乳牛肉牛研究室 石崎重信)

茎葉型品種「リーフスター」では出穂・黄熟期、主食用品種「ちば28号」では乳熟・糊熟・黄熟期に収穫したイネWCSの泌乳牛への給与効果、消化性、嗜好性等を検討した。



< 養豚部門 >

日時：平成27年2月17日(火) 10時～11時50分

場所：印旛合同庁舎2階大会議室(印旛農業事務所隣)

佐倉市竊木仲田町8-1 (TEL: 043-483-1128)

※駐車場に限りがありますので、電車を利用するかお車の場合は乗り合わせでの来場をお願いします。

□畜産排水の窒素低減処理技術

(畜産総合研究センター 企画環境研究室 長谷川輝明)

粉末硫黄を利用した硫黄脱窒法により、水産用水槽(311L容量)を畜産排水向けの窒素除去装置に転用することで、硝酸態窒素を100%近く低減できる。



□ランドレース種の系統造成試験（第5世代）

（畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 新垣裕子）

2008年度よりボウソウL3の後継豚として、繁殖性、産肉性が高く肢蹄の強健な種豚の改良に着手した。今年度は第5世代豚の生産を行ったので、その成績について報告する。



□系統豚の組合せ検定試験（第2報）

（畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 高橋圭二）

現在3週時1腹総体重、発育性等を改良したL種の系統豚を造成中である。そこで、これらの能力を活かすことのできる、W種、D種について組合せ検定を実施した。



□子豚期における枯草菌製剤の給与効果

（畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 細野真司）

離乳豚の飼養管理改善のため、生菌製剤の給与試験を試みた。腸内細菌叢を調査したところ、効能菌は、他の乳酸菌にも影響を与え、下痢などの発生を低減させた。

□給水失宜による豚の食塩中毒の発生例

（中央家畜保健衛生所 病理生化学課 福井陽士）

2013年に県内2農場（肥育及び一貫経営）で、痙攣、起立不能を呈し死亡する事例が発生した。病性鑑定の結果、給水管理の不備を原因とする豚の食塩中毒と診断した。

※引き続き同会場にて千葉県畜産協会主催の養豚大会が行われます。

< 養鶏部門 >

日 時：平成27年2月6日（金）10時30分～13時35分

場 所：成田国際文化会館 小ホール

成田市土屋303（TEL：0476-23-1331）



□粗給与がブロイラーの発育に与える影響

（畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 吉敷笑友子）

粗によりトウモロコシの全量を代替するため、9日齢までは粉碎粗を用い油脂添加量を6%とした飼料で給与試験を行ったところ、発育成績は良好で飼料コストも削減された。

□酵素剤が飼料の利用効率に及ぼす効果

（畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 脇 雅之）

飼料の効率的利用のため、低エネルギー飼料に酵素剤を添加し、産卵鶏で給与試験を行ったところ、飼料費の節減が図れた。



□ビタミンE配合天粕の養鶏飼料への利用

（畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 伊藤香葉）

天ぷらを揚げた油を搾った際に出る天粕に、酸化防止のためビタミンEを添加し採卵鶏に給与した。産卵性能は良好で、卵黄中にビタミンEが移行することが明らかとなった。



□採卵鶏主要銘柄経済性能比較調査

（畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 吉敷笑友子）

養鶏農家のひな導入時の参考とすることを目的に、県内で飼養されている主な採卵鶏について、育成成績、産卵諸性能、卵質および糞中含水分率などを調査した。

□飼料中の粗蛋白質、エネルギー含量が暑熱環境下の肥育前期ブロイラーの発育に及ぼす影響

（畜産総合研究センター 養豚養鶏研究室 伊藤香葉）

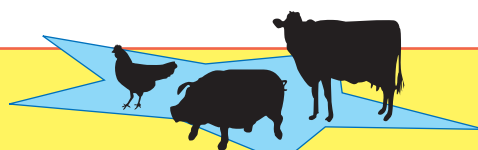
暑熱環境下の肥育前期ブロイラーに、粗蛋白含量およびエネルギー含量の異なる飼料を給与したところ、粗蛋白含量を抑え、エネルギー含量を高めた飼料での増体量が大きかった。

お問い合わせ先

千葉県畜産総合研究センター

〒289-1113 八街市八街へ16-1 電話:043-445-4511 FAX:043-445-5447

<http://www.pref.chiba.lg.jp/lab-chikusan/>



NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信

1 理事会報告

平成26年11月21日(金)公益社団法人千葉県畜産協会会議室に於いて、役員等8名の出席を得て第3回理事会が開催されました。主な協議事項は下記のとおりです。

<p>(1) 平成26年度事業進捗状況 (公社)千葉県畜産協会からの依頼により当NPO会員を派遣して畜産協会の各種事業への支援・協力に取り組んでいる状況報告がありました。</p> <p>①農場HACCP構築支援指導 農場HACCP指導員を派遣して、県内6農場(酪農1戸、養豚2戸、採卵鶏3戸)で農場HACCP認証基準に基づく農場認証を目指している農場への指導・支援状況について報告がありました。 また、農場HACCPの円滑な指導・推進方法として、今後は農場HACCPに取り組んでいる農場を含めた関係者による研究会の発足の必要性や農場HACCPの効果や流通の評価、消費者へのPRの必要性等意見交換がなされ、継続して検討していくこととなりました。</p> <p>②エコフィードコーディネーター設置事業 当NPO会員をエコフィードコーディネーターとしてTMR現地視察研修会やエコフィードTMRセンター優良事例調査等に派遣して、県内のエコフィードの普及推進の向上に努めているとの報告がありました。</p> <p>③野生獣衛生体制整備緊急対策事業 イノシシ10頭及びシカ10頭の採材・調査や地域衛生対策技術連絡委員として当NPO会員を派遣して本事業の円滑な推進に努めている旨状況報告がありました。</p>	<p>(2) 各部会の活動 企画部会は会員の拡大(新規加入3名)及び増収策の検討、6次産業化の推進協力、畜産研修会の企画等の活動を行い、現在第2回畜産研修会を企画・検討しています。衛生環境部会は左記①の事業を中心として実施、生産振興部会、調査研究部会は左記②及び③に取り組んでいます。</p> <p>(3) 今後の計画 左記事業を推進していくとともに、下記の事業計画が検討されました。</p> <p>①畜産の歴史探訪(千葉の酪農・養蜂) 主催: いすみ市女性の会、後援: NPO 日時: 平成27年1月27日(火) 内容: 日本における酪農の歴史と千葉県のかかわり・他</p> <p>②畜産研修会(未定) 日時: 平成27年2月末(未定) 内容: 現在、講師を含め検討中</p>
---	---

2 千葉県畜産フェアでの出店

「畜産何でも相談」コーナー

平成26年10月4日船橋競馬場で開催されました千葉県畜産フェアで当NPOは会員各位の協力を得て、昨年同様「畜産何でも相談」コーナーを設けました。

会場参加の畜産農家から6次産業化の推進についての経営相談や衛生対策等の相談があり、畜産協会担当者及び関係農業事務所等へ連絡し対応策を依頼しました。また、一般来場者からは「健康づくり」について相談があり、日ごろと異なった意見交換ができて有意義な一日となりました。(事務局 薫田)

2015 農林業センサス調査員の募集(案内)

一般社団法人千葉農林水産統計協会から「農林業センサス調査員募集」の紹介がありました。調査員として協力いただける方は、当NPO事務局へ平成27年1月23日(金)までにご連絡方お願いいたします。調査は誰でも簡単にできる内容等で、詳細は千葉農林水産統計協会がご説明いたします。

- (1) 募集人数: 50名
- (2) 条件等: 年齢制限なし、専門性なし、経験年数なし
- (3) 調査内容: 調査員の住所近くの農家調査(農業全体) 15戸~30戸の農家をまわり調査用紙を配布、回収し、最寄りの関東農政局(千葉地域センター、匝瑳出張所、君津出張所)へ届ける
- (4) 調査費等: 調査手当 基本料金5,100円 調査戸数(1戸1,200円程) 調査旅費 実費

◎入会申込みや畜産に関するご相談等をお待ちしております。

NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター事務局(公社)千葉県畜産協会内)

TEL:043-241-1738 FAX:043-238-1255 【会員数:80会員(内、正会員個人67・団体11、賛助会員2団体)】

平成26年度「農林水産就業相談会」開かれる

去る11月23日の勤労感謝の日に千葉市内のQiballにて、これから農業を始めたい、携わりたいという人のための相談会が開かれました。当日は3連休の中日にもかかわらず125名が相談に訪れ、先輩新規就農者の体験談や各個別ブースでの就業相談などに臨みました。



畜産協会のブースには3組が訪れ、就農の動機を熱く語る一方、県内の畜産事情、就職事情などに熱心に耳を傾けていました。41歳男性会社員は、酪農とチーズづくりに興味があるとのこと、酪農体験も1週間ほどということで「まずは先進農家の現場に行ってよく話を聞いた方がよい」と2軒の酪農家を紹介。27歳男性畜産関係団体職員は、将来は酪農業に従事する展望を持ちながら現在は仕事の傍ら新規就農のフィクサーとしての活動もやりたいということで当ブースを訪れてくれました。44歳女性は、子育てしながら勤務する場所を求めておられました。獣医師で、大分県の農協での臨床経験や農協でのマルキン等肉用牛関係の従事経験も持っています。どなたか仕事を紹介してくださ〜い!!(事務局長 山田)



チバザビーフ協議会報

チバザビーフ協議会は千葉県産の「うまい牛肉」のPR活動を行っています。



1 第3回チバザビーフ枝肉研究会開催結果について

平成26年11月19日、東京食肉市場（株）において第3回チバザビーフ枝肉研究会が開催されました。研究会には黒毛和牛31頭、交雑種29頭、計60頭の出品があり、和牛の部では戸村佳資氏（成田市）、交雑の部では御子神正義氏（南房総市）がそれぞれ最優秀賞を受賞されました。

2 第4回チバザビーフ枝肉共励会及びその前夜祭の開催について

チバザビーフ協議会では肉牛の飼養技術向上を図るため、「チバザビーフ枝肉共励会」を開催します。併せて、牛肉流通の起点となる市場関係者やマスコミ関係者等を対象に「前夜祭」を開催し、生産者が直接プロモーション活動を行います。（詳細は下記のとおり。）

開催場所		日程		
【前夜祭】	第一ホテル東京シーフォート	月 日	時間	行事
【共励会】	東京都中央卸売市場食肉市場	2月22日（日）	午前7時30分から	出品牛の搬入・受付
出品区分及び頭数 黒毛和種の部 30頭 交雑種の部 30頭 計 60頭 ※出品申込の状況により、各部の頭数を変更する場合があります。		2月23日（月）	午後5時30分から	と畜、枝肉冷蔵 【前夜祭】
		2月24日（火）	午前8時頃から 午前10時頃から 午前11時30分頃から	枝肉審査・入賞牛発表 枝肉セリ販売 審査講評・褒賞授与
チバザビーフ協議会（事務局：公益社団法人千葉県畜産協会） 担当：企画課 小倉 TEL 043-242-6333 FAX 043-238-1255				

肉用牛損害賠償請求

千葉県肉用牛損害賠償請求生産者会
会長 山崎 巖

平成26年10月21日に行った第10次肉用牛損害賠償請求をもって、肉用牛の逸失利益分の賠償請求が終わり、現在、検査費用の賠償請求を行っております。第13次までの支払いが完了し、平成26年11月27日付けで第14次請求を行いましたので、併せてお知らせいたします（表参照）。

確定済	第13次	請求対象期間：平成26年4月～6月 補償金額：7,850千円 請求者数：66名 最終支払日：平成26年10月28日
請求中	第14次	請求対象期間：平成26年7月～9月 請求金額：7,545千円 請求者数：76名 請求日：平成26年11月27日

なお、平成26年11月25日に開催された東電との関係者会議において請求方式が団体請求から個別請求に変更する事が提示されました。県内関係者との協議、役員会を経て今後の請求方法等についてお知らせいたします。

また、第15次（平成26年10月～12月）・16次（平成27年1月～3月）請求につきましては、これまで同様の方式により行いますので、各窓口団体の指示により提出をお願いいたします。（事務局 武田）

支援団体
 千葉県家畜商協同組合、千葉県肉牛生産農業協同組合、
 千葉県配合飼料価格安定基金協会[千葉県全日本畜産経営者協会]、
 一般社団法人千葉県農業協会（肉用牛部会）、
 株式会社千葉県食肉公社、横芝光町（東陽食肉センター）、
 県南畜産処理事業協同組合（南総食肉センター）

千葉県肉用牛損害賠償請求生産者会
（事務局：公益社団法人 千葉県畜産協会）
 担当：山田・新城・武田
 TEL:043(241)1738 FAX:043(238)1255



CHEF MEAT CHIGUSA Co.,Ltd

株式会社シェフミートチグサ

〒262-0012 千葉県千葉市花見川区千種町210-5
TEL: 043-259-3705 URL: www.chefmeat.co.jp/

酪農、肉牛、養鶏、養豚、ふれあい牧場などの事業を行っている皆様へ

畜産機械施設リースのご案内

リースの特徴・仕組

経営資金が有効に使えます

機械施設の導入時に多額の購入資金を必要としませんので大切な資金を有効に活かすことができます。

また、貸付利子はリース残高の1.0%(年)で、有利です。

導入する機械施設、購入業者が選べます

リース物件は、農家が自由に選定でき、購入価格も業者と交渉して(値引き可)決めていただきます。

リース物件は、リース終了後は自分のものになります

リース期間が終わったら、購入価格の100分の10の額に消費税相当額を加えた額でリースを受けた方に譲渡されます。

リース期間中は、偶発的事故的損害が補償されます

リース機械施設は割安な掛金で損害保険(動産総合保険)に一括加入されるので、リース期間中の火災・落雷・盗難等偶発的な事故による損害が補償されます。

農家には農業協同組合を通じてリースされます

リース物件は、農家が選んだ業者から当協会が購入し、農業協同組合にリースします。農家はこの農業協同組合から再リースされます。

特認貸付けもできます

リース可能な機械施設は別表のとおりですが、これ以外でも農林水産省生産局長の承認を受けてリースすることができます。本措置を利用して、ふれあい牧場のアイスクリーム・チーズ製造用機械、動物用ケージ、ベンチ、簡易牧柵などのリースが可能です。詳しくは当協会にご相談ください。

リース期間の短縮・延長ができます

農家の要望によって、例えば法定耐用年数7年の機械の貸付けにおいて、通常のリース期間6年を4年から9年の範囲で変更することができます。

中古機械もリースします

草地造成や自給飼料生産用の機械施設で一定の基準を満たし、法定耐用年数の残存期間が3年以上あれば、中古機械もリースの対象となります。

信用保険にも加入(任意)できます

当協会から畜産施設リースを受けている農家の方が、いろいろな事情で経営が破たんし、リース料を納入できなくなって保険事故と認定された場合に、保険会社が代わりに保険金として支払う制度です。

- (概要)
- 1 対象となる機械施設は畜産機械施設で、保険期間は開始から最長7年間です。(ただし、加入時において赤字経営の方は対象から外れます。)
 - 2 保険料はリース料残高の(残債)の0.5%です。保険金の上限を1,000万円としていることから、1年間の保険料は最大で50,000円となります。
 - 3 一旦この保険に加入すると、次回以降のリース機械はすべて保険に加入することとなります。ただし、複数の機械が対象となっても、保険金の上限は1,000万円です。

随時、迅速に貸付けします

当協会のリース申請は、随時、受け付けており、貸付契約も迅速な処理で、農家が必要な時に早急な機械施設の整備が可能です。

リース料の支払い例

例 (リース期間9年)リース機械価格100万円(消費税抜)、貸付開始4月1日の場合

(単位:円)

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	譲渡価格	合計
リース料	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	1,000,000
消費税	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	80,000
利子	9,750	8,750	7,750	6,750	5,750	4,750	3,750	2,750	1,750	—	51,750
保険料	15,580	—	—	—	—	—	—	—	—	—	15,580
年間支払合計額	133,330	116,750	115,750	114,750	113,750	112,750	111,750	110,750	109,750	103,000	1,147,330

例 (リース期間6年)リース機械価格100万円(消費税抜)、貸付開始4月1日の場合

(単位:円)

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	譲渡価格	合計
リース料	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	100,000	1,000,000
消費税	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	8,000	80,000
利子	9,625	8,125	6,625	5,125	3,625	2,125	—	35,250
保険料	10,550	—	—	—	—	—	—	10,550
年間支払合計額	182,175	170,125	168,625	167,125	165,625	164,125	108,000	1,125,800

注1:年間支払い合計額は、毎年、3月末と9月末の2回に分けて支払っていただきます。

注2:保険料(動産総合保険)は、この機械が自給飼料用・据付固定型の機械の場合で、機械の種類等によって若干異なります。

支払いの時期は第1回目のリース料の支払いと同時です。

注3:このほか、このリースを扱う農協等の事務手数料がかかる場合があります。

注4:中古機械のリース料についても上表に準じて適用されます。また、損害保険の対象にもなります。

注5:消費税については、引渡し時の税率が最終譲渡時まで適用されます。

主なリース機械と期間

貸付機械施設名	主要なリース機械	リース期間
自給飼料生産利用機械施設	<ul style="list-style-type: none"> ●トラクター ●ロータリー ●バキュームカー ●モアコンディショナー ●フロントローダー ●カッター ●フォレージハーベスター ●レーキ類 ●ラッピングマシン ●ロールカッター ●ロールベラー ●ベールディストリビューター ●テッター類 ●飼料攪拌機 ●マニアスプレッダー ●播種機 ●ホイールローダー ●コーンハーベスター ●自動給餌機 ●ヘイベイラー ●コーンプランター ●ワゴン類 ●ディスクモア等モア類 ●FRPサイロ 	6年
	●ダンプカー	5年
搾乳施設	●パイプラインミルクカー ●ミルキングパーラー ●搾乳ロボット ●搾乳ユニット自動搬送装置	6年
生乳冷却貯蔵施設	●バルククーラー ●プレートクーラー	6年
生乳検査機械	●生乳成分測定器	6年
精液保管等施設	●凍結精液保管器 ●精液輸送車(特殊自動車の場合は5年) ●液体窒素保管器 ●補給器	6年
畜舎環境改善機械施設	●消毒機 ●消毒用自動車(特殊自動車の場合は5年) ●細霧装置 ●節電装置 ●哺育器 ●通風装置	6年
中小家畜管理機械施設	●自動給餌器 ●豚分娩ゲージ ●鶏舎用カーテン巻き上げ機	6年
特認機械施設	●検査分析機器 ●孵卵器 ●アイスクリーム製造機(従前の貸付例)	

※リース期間は、要望により、上表の6年のものは4年から9年、同5年のものは2年から4年にすることができます。この表は、リースしている機械の一部です。この表以外にもリースできる機械はたくさんあります。

詳しいお問い合わせは・・・

(公社)千葉県畜産協会、お近くの農業協同組合又は(財)畜産近代化リース協会までご連絡下さい。

(公財)畜産近代化リース協会

TEL:03-3584-0899

FAX:03-3584-0758

(公社)千葉県畜産協会 事業部 担当:山田

TEL:043-241-1738

FAX:043-238-1255



N P C 通信

ナイスポークチバ推進協議会



1 ナイスポーク会長平野 拓歩氏・平成26年文化の日千葉県功労者表彰受賞

文化や教育などの各分野で顕著な功績を挙げ、千葉県の発展に貢献した個人や団体に「平成26年文化の日千葉県功労者表彰」の表彰式が11月3日、県議会議場で行われ、ナイスポークチバ推進協議会会長



平野 拓歩氏が受賞した。

平野氏は、平成11年5月、ナイスポークチバ推進協議会設立と同時に副会長に就任し、平成19年5月から会長として当協会をまとめ、県内養豚振興に尽力した。平成20年5月には日本養豚生産者協議会理事、その後合併した一般社団法人日本養豚協会の理事・副会長・会長代行を歴任し、全国の養豚業界の発展に尽力した。

2 東の匠SPF豚研究会最優秀賞「農林水産大臣賞」を受賞

公益社団法人中央畜産会は、平成26年11月14日（金）東京千代田区「日比谷図書文化館」において平成26年度全国優良畜産経営管理技術発表会を開催した。

この発表会は会員団体が行う支援活動を通じて明らかにされた優秀な実績を収めている畜産経営又はグループ、ならびに経営の課題解決に取り組んでいる畜産経営等を広く求め表彰することにより、その経営の成果、技術の普及拡大を行い畜産経営の振興に資するとしている。



この発表会は、第54回農林水産祭の一環として開催されており、11事例のうち今回8事例が発表、その内最優秀賞4点が選ばれ、農林水産大臣賞が授与された。

千葉からは香取郡東庄町で銘柄豚肉を生産している「東の匠SPF豚研究会」が「安全と安心を届ける新ブランド豚肉で町おこし」と題し発表され最優秀賞に選ばれた。

3 第4回口蹄疫慰霊祭しめやかに開催

平成26年11月29日（土）福島県・独立行政法人家畜改良センターにおいて4回目となる慰霊祭がしめやかに開催された。



平成22年4月20日、宮崎県において発生した口蹄疫は、約29万頭の牛・豚を処死する犠牲を強い、生産者に未曾有の大惨事をもたらし、国・県・生産者・関係者の防疫に対する献身的な努力により終息できた。

全国の畜産関係者が口蹄疫初期の段階で防圧できず、生命を途中で絶たれた家畜を慰霊するとともに、今回の惨事を反省し、教訓として後世に伝える目的で慰霊碑が福島県西白河郡西郷村所在の（独）家畜改良センターに慰霊碑【宮崎県産：尾鈴石・高さ4m・幅1.4m・重さ16t】が建立されている。

4 平成26年活動報告会盛大に開催される

恒例の講演会は平成26年12月3日（水）128名の参加により千葉市内京成ホテルミラマーレにおいて開催された。例年消費者を意識して特別講演は開催されてきたが、今回は講師に内澤 洵子氏を迎え「三匹の豚とわたし」と題し素人が豚を飼い、屠畜した豚肉を全て食す、岩波書店から出版されている「飼い喰い」の内容で講演された。生産者としても興味深い内容となった。



報告会は、生産者・関係機関・賛助会員・消費者総勢204名の出席を頂いた。開会に際し、会長から「豚流行性下痢（PED）の感染拡大による豚肉生産への影響、生産者の強い願望であった「養豚農業振興法」の国会成立、飼料米の利用による国産飼料自給率の向上、豚肉の安全・安心を消費者に伝えるトレーサビリティの推進、TPP交渉における差額関税制度の堅持のための活動など、安定した養豚経営を確保するうえで、組織が団結して活動しなければならない最も大切な時期である。国産豚肉生産の意義と国益に叶う産業であることを、活動の中で示していくため、今後と

もご出席の皆様のご指導、ご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます」旨挨拶された。

また、来賓挨拶、映像による活動報告、アトラクション、消費者との情報交換により国産豚肉をPRし、報告会の締めとして、高橋（秀）副会長から生産者の決議文を朗読し、塩澤会長代理から恒例の「トン・トン」で報告会を締めた。

【 決議文 】

- ・「差額関税制度」は法律に基づく制度、厳格なる運用強化と制度堅持を強く求める。
- ・生産者自ら意識して、国産豚肉のPRと、より高い信頼を得るため、豚トレーサビリティを推進します。



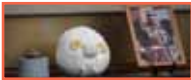
5 2015年知事への年頭あいさつ



平成27年1月6日（火）森田健作知事を表敬訪問いたしました。

ナイスポークから塩澤会長代理、岩岡・高橋（守）、松ヶ谷副会長、堀江顧問、事務局の6名が参加し、知事から「日頃から千葉県の養豚生産と県産豚肉の消費拡大に活動願い感謝する」旨の挨拶を頂きました。

2015年の干支である「羊」のぬいぐるみを持参し、ナイスポークの印象を残してまいりました。（事務局 加藤）



2014年（第8回）千葉県畜産フェア開催

平成26年10月4日（土）、船橋競馬場ふれあい広場に於いて第8回千葉県畜産フェアが千葉県・船橋市の後援、関係団体、出展団体等の協力、また、多数の団体より協賛をいただき盛大に開催することができました。

本年度は広々とした会場を縁日の屋台をイメージし狭目の通路を作るようにテントを設置して行いました。

森会長、麻生千葉県農林水産部長が出席され、出展者の方に激励の挨拶をいただきました。

好天に恵まれたこともあり、大勢の県民や関東近郊の方々が訪れ、骨密度測定、ミルクくずもち、焼肉試食販売等を行い、豪華な景品（牛肉・豚肉等）が当たる大抽選会は大いに盛り上がりました。

今回、テントの充実を図ったことで来場者に対しこれまで以上に充実したサービスやコミュニケーションを取ることができたように思います。

また、同時開催された第4回ダートフェスタにも多くの参加者が集まり、ダートレース体験[1200m]（8R、15R各1位）、21kmダート駅伝（11位、22位、29位、33位、44位、55位、66位、77位、男子1位、男女混成1位）に副賞として県産銘柄豚肉及び牛肉計12点を提供しました。今後多くの集客のため同時開催されている団体と連携をし、来場者に千葉県産畜産物の消費拡大の推進や安全・安心等のPRを行える場になるよう進めていきたいと思っております。（総務課 武田）



瞳は未来を見つめてる。



動物 未来 みつめる ひろがる



ゼノアック
ZENOAQ

動物用医薬品 製造販売

日本全薬工業株式会社

福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

URL : www.zenoaq.jp

★ふれあい体験教室開催★

平成26年10月12日、THE FARM（香取市）にて、消費者に畜産の生産現場や畜産の果たしている役割、県産畜産物に対する理解促進を図るためマーガレットポーク消費者交流会を開催しました。

マーガレットポークを販売しているスーパーせんだう千葉みなと店で募集した7組27名の消費者が参加しました。参加者は小さなお子様連れのご家族が多かったのですが、芋掘り、マーガレットポークのBBQと大変喜んでいました。生産者も日頃ふれあう機会のない消費者と意見交換をすることができ、マーガレットポークの取組状況をPRするよい機会となりました。（総務課 榎屋）



肉用子牛生産者補給金制度・肉用牛繁殖経営支援事業

肉用子牛の保証基準価格及び合理化目標価格について改定がございますのでお知らせいたします。

また、指定肉用子牛の平均売買価格が高いため、生産者補給金及び繁殖経営支援交付金についてはほぼ発動のない状況が続いておりますが、肉用子牛個体登録申込、販売及び保留等の報告については登録・報告漏れのないようお願いいたします。（生産課 飯沼）

区分		黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
26年度	保証基準価格	329,000	300,000	215,000	128,000	195,000
	合理化目標価格	275,000	253,000	145,000	87,000	143,000
27年度	保証基準価格	332,000	303,000	217,000	130,000	199,000
	合理化目標価格	277,000	255,000	147,000	88,000	144,000

肉用牛肥育経営安定特別対策（新マルキン）事業

毎月払いが継続して実施されており、引き続き販売報告の漏れがないようお願いいたします。（企画課 小倉）

◆肥育牛補填金単価について【平成26年7・8・9月分】

（単価：円／頭）

区分	7月			8月			9月		
	肉専用種	交雑種	乳用種	肉専用種	交雑種	乳用種	肉専用種	交雑種	乳用種
粗収益 (A)	893,889	536,599	350,793	886,785	547,933	347,642	939,495	260,206	347,107
生産コスト (B)	901,265	627,267	418,783	917,119	631,976	421,227	921,399	637,720	428,959
差額 (C) = (A) - (B)	△7,376	△90,668	△67,990	△30,334	△84,043	△73,585	18,096	△77,514	△81,852
補填金単価 (C) × 0.8	5,900	72,500	54,300	24,200	67,200	58,800	-	62,000	65,400
補填金単価 (積立金免除牛)	4,400	54,300	40,700	18,100	50,400	44,100	-	46,500	49,000

※100円未満切り捨て

地方競馬の収益金は畜産の振興に役立っています。

「食の安全・安心」のための第1歩は、「法令遵守」であることを改めて認識してください。

部署		TEL	FAX
総務・企画部	総務課	043-242-5417 (代)	043-238-1255
	企画課	043-242-6333	
事業部	経営・環境課	043-241-1738	
	衛生指導課	043-241-1738	
	生産課	043-241-3851	
Eメール: info@chiba.lin.gr.jp		URL http://chiba.lin.gr.jp	